

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14020010

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	5	介護老人保健施設事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	老健施設入所者ベッド更新事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	地域医療体制の維持					
事業目標	ベッド数					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	17 介護老人保健施設		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容		●老健施設入所者のベッド更新					・入所者用ベッド更新(25台)
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	7,500	0	0	0	7,500
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	7,400					7,400
	その他	0					
	一般財源	100					100
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,048	0	0	0	6,048	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	6,000				6,000	
	その他	0					
	一般財源	48				48	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	公営企業債 過疎債	【評価・実績】					●入所者用ベッド更新(24台)
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値					ベッド数(25台)
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	81%	
	事業進捗状況						

事業名	老健施設入所者ベット更新事業	評価者 管理職 職氏名	事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民(老健施設入所者)		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	入所者用ベットの老朽化に伴い、快適な入所環境及び介護業務に影響を与える恐れが生じているため、改善を図る必要がある		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入所者の生活環境及び介護業務の改善を図ることができる		① 入所者用ベットの更新	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入所者の環境改善の図ることにより、快適な生活及び介護サービスの向上につながる			目標値	24台
				実績値	24台
				達成度	100.0%
			②	目標年度	平成29年度
				目標値	〇〇
				実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	入所者用ベットの更新	入札による事業執行			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入所者に対する生活環境の改善は、介護サービスの向上につながる重要な事業である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	快適な生活環境の改善だけではなく、見守りを含めた介護業務の向上ができたことから有効である
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	付属品を含む購入品目等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	将来的な入所を含め、町民の多くに受益がおよぶため、公平な事業である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業の実施により、入所者に対する生活環境が改善され、期待どおりの成果があった		
今後の展開方向 (Action)	↓	↓
終了		
老健施設に係るベットについては、計画的に更新する必要があるが、当面の計画はないため本事業は終了とする		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止